

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間：2019年12月1日から2020年11月30日まで



蝶（オオゴマダラ）のさなぎ

発行日：2021年2月22日

東洋通信工業株式会社

〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1

TEL:052-505-9011 FAX:052-505-9010

URL <http://www.toyotsushin.co.jp>

目 次

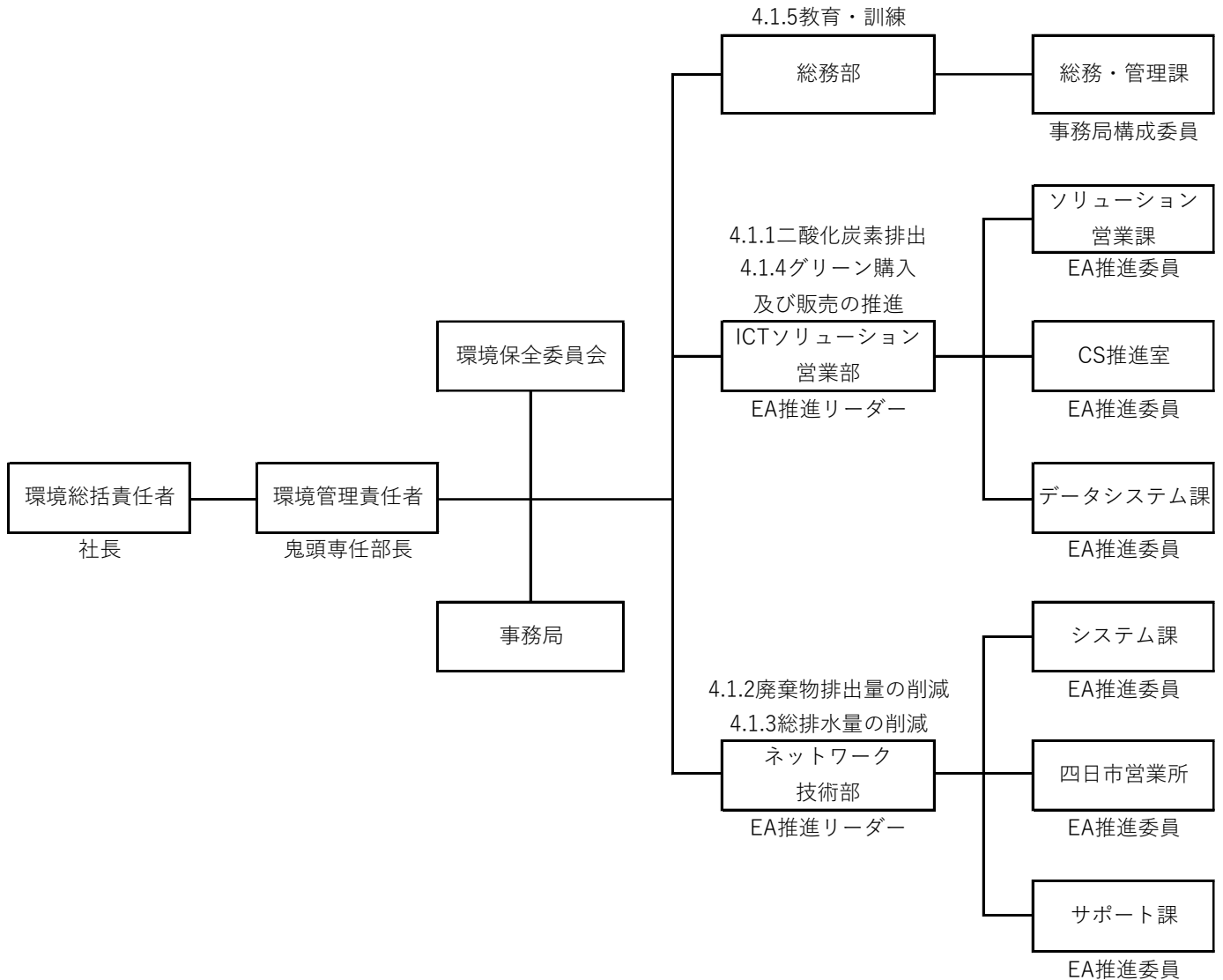
1. 組織概要・対象範囲	2 頁
2. 組織の役割、責任及び権限	3・4 頁
3. 環境方針	5 頁
4. 環境活動計画と実績	6 頁
4.1 環境活動	
4.2 環境活動目標（3 期分）	7 頁
4.3.1 環境活動実績	8 頁
4.3.2 環境活動実績	9 頁
4.4 環境負荷の状況（過去 3 期分）	10 頁
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11 頁
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	12 頁
7. 環境活動計画における次年度からの取組	12 頁
8. 社会貢献活動	12 頁

1. 組織概要・対象範囲

商号	東洋通信工業株式会社
設立	1956年（昭和31年）2月10日
資本金	18,165千円
事業年度	12月1日～11月30日
建設業 許可番号	国土交通大臣許可（一般）第324号
事業内容	情報通信のネットワークインフラの運用提案販売及び工事・保守
年商	8億6,300万円（2020年11月末）
代表者	代表取締役 澤田 政英
本社	〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1 TEL052-505-9011 FAX052-505-9010 URL http://www.toyotsushin.co.jp
四日市 営業所	〒510-0065 三重県四日市市中浜田町3番7号 TEL059-352-7703 FAX059-352-7702
総人員	46名（2020年11月末）
取引銀行	三重銀行・名古屋銀行・商工中金・三井住友銀行・三菱UFJ銀行
対象範囲	全組織・全活動（本社 43名 四日市 3名）

2. 組織の役割、責任及び権限

令和2年11月30日現在



1. 環境総括責任者（社長）

- ①環境マネジメントシステムの統括的な責任と権限を有する。
- ②環境マネジメントに必要な経済資源を用意する。
- ③環境管理責任者を任命する。

2. 環境管理責任者（鬼頭専任部長）

- ①環境マネジメントに関する構造及び運用責任及び権限を有する。
- ②環境総括責任者に環境マネジメントシステムの実績を報告する責任を有する。

3. 環境保全委員会

- ①環境総括責任者を委員長として、環境管理責任者、エコアクション推進リーダー、事務局で構成する。
- ②開催は年1回とし、委員長が必要と認めた場合は臨時に開催できる。
- ③活動計画、目標の達成状況、環境関連の法規則の遵守状況等を確認し、是正、評価を行う。
- ④中長期目標を設定する。

4. エコアクション(EA)推進リーダー

各部署の所属長をリーダーとし、各部署に割り当てられた 4.1.1 から 4.1.5 の環境活動項目の推進責任者とする。

5. エコアクション(EA)推進委員

各環境活動項目を推進する。

6. 事務局

事務局長を木村課長とし、下記の事項を行う。

- ①環境マネジメントシステムの構築及び維持を行う。
- ②環境保全委員会の議長と事務局を担当する。
- ③環境活動の進捗状況の確認を行う。
- ④活動の取り組み状況を社内外に公表するための取り纏めを行う。

3. 環境方針

環境基本理念

当社は、情報通信技術を核に、I Pネットワークシステムの提案、工事、保守を通じて、お客様のニーズに応えるとともに、かけがえのない地球の環境を大切に、積極的に環境保全に配慮した活動を行います。

環境行動指針

1. 環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、汚染の予防と汚染の改善及び当社の環境活動の仕組みの継続的改善に努めます。
2. SDGs（エスディージーズ）の持続可能な開発目標にある活動を推進します。
3. 環境関連法令・条例・当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 地球温暖化防止・省エネルギー活動の推進に努めます。
5. 分別回収によるリサイクル活動を推進し、廃棄物の削減に努めます。
6. 地域社会貢献に努めます。
7. 環境方針は文書化し当社社員及び会社に関係する全ての人々に周知します。

制定月日 2006年11月08日
2版改訂月日 2009年12月01日
3版改定月日 2014年02月01日
4版改定月日 2019年12月01日

東洋通信工業株式会社
代表取締役 澤田 政英

4. 環境活動計画と実績

4.1 環境活動

項 目	具体的取組内容	
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定
		給湯器は、5月～10月 OFF、11月～4月は60℃設定
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃
		常時稼働エアコンのフィルタは3ヶ月に1度(3月・6月・9月・12月)清掃
		換気扇の適宜のON・OFF
		ブラインドやカーテンでの熱の調整
		クールビズ・ウォームビズの実施
	2) ガソリン 使用量	エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない(5秒で時速20kmに達するのが目安)
		急発進・急加速・空ぶかしの排除
		カーエアコンのこまめな調整
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安
		タイヤの空気圧の適正維持
		エコカーの導入
4.1.2 廃棄物排出量の 削減	1) 一般廃棄物 のリサイクル 及び削減	裏紙使用、使用済封筒の活用
		ごみの分別
		現場での廃棄物の分別
	2) 産業廃棄物 の抑制及びリ サイクル	書類のペーパーレス化
		マニフェストによる適正処理
		線材くずのリサイクル
4.1.3 水使用量の削減	上水	手洗い、洗い物時の節水
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		省エネ基準適合商品の購入
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進
4.1.5 教育・訓練		毎期7月に実施

4.2 環境活動目標（3期分）

削減率は基準値(65期)から每期3%

項目			単位	基準値 2019年 (65期)	2020年 (66期)	2021年 (67期)	2022年 (68期)		
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	42,976	41,687	40,397	39,108		
		☆四日市		3,483	3,483	3,483	3,483		
		☆菱興		1,312	1,312	1,312	1,312		
		☆名大		2,068	2019年6月退去				
		☆三河		1,172	1,172	1,172	1,172		
		合計		51,011	49,481	47,950	46,420		
				Kg-CO2	24,740	23,998	23,256	22,514	
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	30,654.68	29,735.04	28,815.40	27,895.76		
		四日市		3,090.40	2,997.69	2,904.98	2,812.26		
		合計		33,745.08	32,732.73	31,720.38	30,708.02		
					Kg-CO2	78,288.59	75,939.93	73,591.27	71,242.61
	車両台数			台	32	32	32	33	
	二酸化炭素総排出量				103,029	99,938	96,847	93,756	
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	682	661	641	620		
	資源ごみ			983	954	924	895		
	産廃	プラスチック	Kg	2,139	2,075	2,011	1,946		
		金属屑		2,356	2,285	2,215	2,144		
水 使用量	本社	上水	m ³	256.0	248.3	240.6	233.0		
	四日市			18.0	17.5	16.9	16.4		
	合計				m ³ /人数	5.96	5.78	5.60	5.42
		社員数		人	46名	46名	46名	46名	
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	198.1	204.0	210.0	215.9		

- ・電力(中部電力)の平成27年度(2015年)のCO₂排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ガソリンのCO₂排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・グリーン購入はNECのグリーン機器類の仕入高
- ・化学物質は使用していませんので設定していません
- ・☆の個所は、維持管理目標
- ・項目の()は原単位のための数値
- ・12頁の7. 環境活動計画における次年度からの取組参照
- ・65期は2018.12.1~2019.11.30、66期は2019.12.1~2020.11.30、67期は2020.12.1~2021.11.30、68期は2021.12.1~2022.11.30
- ・今回の対象期間は65期(2018.12.1~2019.11.30)の結果を新たな基準として目標設定をした。

4.3.1 環境活動実績

項	目	具体的取組内容	評価
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯	○
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定	△
		給湯器は、5月～10月 OFF、11月～4月は60℃設定	○
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃	○
		常時稼動エアコンのフィルタは3ヶ月に1度(3月・6月・9月・12月)清掃	△
		換気扇の適宜のON・OFF	○
		ブラインドやカーテンでの熱の調整	○
		クールビズ・ウォームビズの実施	○
	2) ガソリン 使用量	エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない(5秒で時速20kmに達するのが目安)	△
		急発進・急加速・空ぶかしの排除	○
		カーエアコンのこまめな調整	△
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安	△
		タイヤの空気圧の適正維持	△
		エコカーの導入	○
4.1.2 廃棄物排出量の 削減	1) 一般廃棄物 のリサイクル 及び削減	裏紙使用、使用済封筒の活用	△
		ごみの分別	△
		現場での廃棄物の分別	△
		書類のペーパーレス化	△
	2) 産業廃棄物 の抑制及びリ サイクル	マニフェストによる適正処理	○
		線材くずのリサイクル 現場からの撤去品のリサイクル	○
4.1.3 水使用量の削減	上水	手洗い、洗い物時の節水	△
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す	△
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		省エネ基準適合商品の購入	○
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進	○
4.1.5 教育・訓練		毎期7月に実施	○

・評価は、具体的取組内容に対し取組程度を○：達成できた △：活動にばらつきがある
×：達成できなかったで表記した。

4.3.2 環境活動実績

項目		単位	基準値	目標	実績	目標値と実績の増減%	評価	
			2019年 65期	2020年 66期				
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	42,976	41,687	42,281	1.4%	×
		☆四日市		3,483	3,483	3,924	12.7%	—
		☆菱興		1,312	1,312	1,347	2.7%	—
		☆名大		2,068	—	—	—	—
		☆三河		1,172	1,172	1,168	-0.3%	—
		合計		51,011	47,654	48,720	2.2%	×
		合計	Kg-CO2	24,740	23,112	23,629	2.2%	×
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	30,654.68	29,735.04	28,698.84	-3.5%	○
		四日市		3,090.40	2,997.69	2,744.57	-8.4%	○
		合計		33,745.08	32,732.73	31,443.41	-3.9%	○
		合計	Kg-CO2	78,288.59	75,939.93	72,948.71	-3.9%	○
		(車両台数)	台	32	32	32	—	—
二酸化炭素総排出量		Kg-CO2	103,028.92	99,051.98	96,577.91	-2.5%	○	
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	682	661	484	-26.8%	○
	資源ごみ			983	954	838	-12.2%	○
	産廃	プラスチック	Kg	2,139	2,075	2,205	6.3%	×
		金属屑		2,356	2,285	2,295	0.4%	×
水 使用量	本社	上水	m ³	256.0	248.3	255.0	2.7%	×
	四日市			18.0	17.5	18.0	3.1%	×
	合計		m ³ /人数	5.96	5.78	6.07	5.0%	×
		(社員数)	人	46名	46名	45名	—	—
グリーン購入及び販売の推進		仕入高	198.1	204	182.5	-10.5%	×	

- ・ 電力(中部電力)の平成 27 年度(2015 年)の CO₂ 排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ ガソリンの CO₂ 排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・ 仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入は NEC のグリーン機器類の仕入高
- ・ 評価は、目標に対し達成できた場合○、ばらつきがある場合△、達成できなかった場合×、
—は評価せず(単位と別の表記の項目あるいはどちらか一方で評価済み)
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ ☆の個所は、維持管理目標
- ・ 項目の()は原単位のための数値
- ・ 65 期は 2018.12.1~2019.11.30、66 期は 2019.12.1~2020.11.30

4.4 環境負荷の状況（過去3期分）

項目			単位	2018年 64期	2019年 65期	2020年 66期	
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	45,298	42,976	42,281	
		四日市		3,684	3,483	3,924	
		菱興		1,433	1,312	1,347	
		名大		2,122	2,068	0	
		三河		1,272	1,172	1,168	
		合計		53,809	51,011	48,720	
				Kg-CO2	26,097	24,740	23,629
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	32,467.10	30,654.68	29,287.15	
		四日市		3,391.47	3,090.40	2,156.26	
		合計		35,858.57	33,745.08	31,443.41	
					Kg-CO2	83,191.88	78,288.59
(車両台数)			台	32	32	32	
二酸化炭素総排出量			Kg-CO2	109,289.25	103,028.92	96,577.91	
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	828	682	484	
	資源ごみ			792	983	838	
	産廃	プラスチック	Kg	2,603	5,339	2,205	
		金属屑		1,965	4,356	2,295	
水 使用 量	本社	上水	m ³	258.0	256.0	255.0	
	四日市			18.0	18.0	18.0	
	合計		m ³ /人数	5.87	5.96	6.07	
	(社員数)		人	47名	46名	45名	
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	99.2	198.1	382.5	

- ・ 電力(中部電力)の平成27年度(2015年)のCO₂排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ ガソリンのCO₂排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・ 売上高、仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入はNECの機器類の仕入高
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ 64期は2017.12.1~2018.11.30、65期は2018.12.1~2019.11.30、66期は2019.12.1~2020.11.30

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

適応される法律と対応

法令等の名称		対象及び要求事項	遵守状況 確認	確認	
1	消防法	防火 ・消防設置場所・火の始末、消灯、施錠	最終 退出者	○	
2	廃棄物処理法	保管場所、保管状態 廃棄物指定業者への引渡し ・マニフェストの処理、管理及び6月 末迄の知事への状況報告	事務局	○	
3	フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検		○	
4	リサイクル法	指定再資源化製品(小型二次電池) ・ニッケル、カドミウム電池 ・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池 ・小型シール鉛蓄電池		○	
5	家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化等 ・ユニット形エアコン ・ブラウン管式テレビ ・電気冷蔵冷凍庫 ・電気洗濯機		該当なし	
6	自動車リサイクル法	使用済自動車			
7	産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例 (名古屋市)	廃棄物の減量及び適正処理		○	
8	市民の健康と安全を確保する 環境保全に関する条例	アイドリングストップ		○	
9	三重県環境保全に関する条例	アイドリングストップ		四日市(営)	○

*法制度の最新状態維持のため上期(5月)、下期(11月)事務局により確認した場合、確認欄に○を表記、されなかった場合は×を表記
環境関連法規への違反、訴訟、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境に大きな負荷をかける二酸化炭素排出量は、全社の電力使用量において目標値 47,654kWh に対し 1,066Wh 約 2.2% 上回った。

要因として、1 年を通し新型コロナウイルスの影響により外出の自粛が国から要請され、社内での業務が増えたが、以外にも 2.2%UP で留まったのは、環境活動に加え、エコガラスによる二重窓と省エネの空調機に変更したことがあり、今年は猛暑であったが暖冬であったことが大きく、電力使用量を大きく上回るのを留めたと考えられる。

又、ガソリンでも電力使用量と同様に、目標値 32,733ℓ より役 1,290ℓ 削減できたのは、結果として新型コロナウイルスの影響として考えられる。

廃棄物排出量は、ごみの分別（社内と現場の分別も含め）の精度が多少良くなったからと思われる。

水の使用量は毎年ほぼ同じ量で推移している。

グリーン購入は売上が前期より 2.2 億円下回った結果と考えられる。

2021 年 2 月 22 日

東洋通信工業株式会社

代表取締役 澤田 政英

7. 環境活動計画における次年度からの取組

維持管理に活動を切り替えつつあり、水の使用量は毎年ほぼ同じ量で推移していることから、来期から維持管理に活動を切り替える。

ごみの分別や室内の温度設定はまだ乱れがちで、組織の役割に各部署を割り当てて実施してゆき、毎期 7 月の教育訓練でも再度徹底していく。

これらの啓蒙活動により、ごみの分別、クールビズ、ウォームビズの温度設定等の目標をクリアしてゆく。

8. 社会貢献活動

毎月第一水曜日、地域清掃活動を実施

① 12 月 4 日 34 名参加	⑦ 6 月 3 日 37 名参加
② 1 月 15 日 37 名参加	⑧ 7 月 15 日 39 名参加
③ 2 月 5 日 38 名参加	⑨ 8 月 5 日 38 名参加
④ 3 月 11 日 36 名参加	⑩ 9 月 2 日 40 名参加
⑤ 4 月 8 日 34 名参加	⑪ 10 月 7 日 35 名参加
⑥ 5 月 13 日 39 名参加	⑫ 11 月 11 日 35 名参加